

「池田分かち合いの会・ひかり」

発行責任者：植村ヨシ子

編集：京井幹男

発行日 2022年4月

No. 4

豊中夢基金 杉山春講演会「自死は向き合える」 主催：池田分かち合いの会・ひかり

★ 日時：2022年6月18日（土）午後2時 ★ 場所：豊中商工会議所 ★ 参加費：無料
自死、虐待を扱っておられる。NHK朝の番組にも出演。

著書 『自死は、向き合える』 遺族を支える，社会で防ぐ（岩波ブックレット）
『ネグレクト—育児放棄 真奈ちゃんは何で死んだか』（小学館ノンフィクション賞受賞）
『児童虐待から考える』社会は家族に何を強いてきたか（朝日新聞出版）

新聞づくりの趣旨

- 参加者が発見、気づいた体験を書くことにより認識が深められる。
- 当事者同士の絆が深まる。
- 差別・偏見への理解をたかめる。
→生の声を伝えることにより社会認識を深めていく。

池田分かち合いの会・ひかり in 豊中（定例会・毎月第二土曜日）
池田分かち合いの会・ひかり in 池田（定例会・毎月第三土曜日）



いずれも午後2時から・事前申込み不要・参加費無料

問い合わせ先：植村ヨシ子（代表） 電話080-3858-2954

みんなて話そう

灯火（ともしび）

2020年11月6日、
息子が自ら命を絶った。
これまで私も人間関係で悩
み周囲の不理解にもどかさ
を感じたことは何度も経験し
た。それでも一度も死にたい
と思ったことはなかった。が
自死遺族になって初めて死に
たいと思った。

巻き戻しのできない現実と
二度と帰らない命。
息子に対する希望は完全に絶
たれた。今あるのは希望の光
ではなく得体のしれない僅か
な光か命の灯火かも知れない。
そんなことを感じながら息子
が自死に至るまでを考える。
いつから光が薄れていったの
か、灯火は何年何ヶ月揺れ動
いていたのか。
何度も感じたであろう生きづ
らさ。家族さえも不理解だっ
た。自責の念と後悔が襲いか
かる。

しかし経緯を考えると家庭
だけが問題ではない。
それは学校や職場に大いに原
因がある。
社会全体の認識が不可欠で
あり一人ひとりの思いやり優
しさがあれば灯火はやがて小
さな光に変えることができた
のではないだろうか。

そんなことを感じながら息子

(N)

